

# 医療制度改革の反対運動が広がる 国民負担増の反対運動が広がる

日本歯科医師会は、医療制度改革の反対運動を国民一体で展開するた  
め、厚生労働省の制度改革試案に対する意見をまとめるとともに、ポス  
ター、反対署名の協力依頼文、署名簿の三点を全国会員に直接送付した。

日本歯科医師会は、医療制度改革の反対運動を国民一体で展開するた  
め、厚生労働省の制度改革試案に対する意見をまとめるとともに、ポス  
ター、反対署名の協力依頼文、署名簿の三点を全国会員に直接送付した。

日本歯科医師会は、医療制度改革の反対運動を国民一体で展開するた  
め、厚生労働省の制度改革試案に対する意見をまとめるとともに、ポス  
ター、反対署名の協力依頼文、署名簿の三点を全国会員に直接送付した。

## 受診意欲低下となる

## 国民負担増は許さない

日本歯科医師会は、医療制度改革の反対運動を国民一体で展開するた  
め、厚生労働省の制度改革試案に対する意見をまとめるとともに、ポス  
ター、反対署名の協力依頼文、署名簿の三点を全国会員に直接送付した。

日本歯科医師会は、医療制度改革の反対運動を国民一体で展開するた  
め、厚生労働省の制度改革試案に対する意見をまとめるとともに、ポス  
ター、反対署名の協力依頼文、署名簿の三点を全国会員に直接送付した。

日本歯科医師会は、医療制度改革の反対運動を国民一体で展開するた  
め、厚生労働省の制度改革試案に対する意見をまとめるとともに、ポス  
ター、反対署名の協力依頼文、署名簿の三点を全国会員に直接送付した。

日本歯科医師会は、医療制度改革の反対運動を国民一体で展開するた  
め、厚生労働省の制度改革試案に対する意見をまとめるとともに、ポス  
ター、反対署名の協力依頼文、署名簿の三点を全国会員に直接送付した。

## 私たちは、患者さんや国民に 痛みを押しつける医療保険制度の 改定に断固反対します！

- 一、高齢者医療の対象年齢を七〇歳から七五歳に引き上げ、これまで医療費の一割負担であった七〇歳から七四歳までの人たちの負担を二割に引き上げようとしています。
- 一、健康保険加入者本人の医療費負担を、これまでの二割から三割に引き上げようとしています。
- 一、医療費が高額になった場合、患者さんが負担する限度額が低く抑えられていますが、これを引き上げようとしています。

※広島県内の病院・医院において  
反対署名運動を実施しております。  
署名にご協力をお願いします。

ご意見・ご感想のお問い合わせ先は

社団法人 **広島県歯科医師会**  
〒730-0043 広島市中区富士見町11番9号 TEL082-241-5525

社団法人 広島県医師会  
社団法人 広島県歯科医師会  
社団法人 広島県薬剤師会

11月1日付で中国新聞に掲載した全面意見広告



平成13年  
11月24日  
第105号

発行所  
広島県歯科医師会  
広島市中区富士見町11-9  
TEL (082) 241-5525  
編集兼発行人 山本忠昭



陳情活動を展開して

このような署名活動  
展開のなか、広島県歯  
科医師会としても、十  
一月一日付、中国新聞  
に「医療制度改革に断  
固反対」の全面意見広  
告を掲載し、県民・国  
民と一体になった反対  
運動の機運を高めよう  
としている。

また「この試案が通  
れば、世界に冠たる国  
民皆保険制度が根底か  
ら崩れる。国民医療を  
守るために医療関係団  
体は一致団結すべきで  
ある」との考えから十  
二月一日(土)午後二  
時から東京・日比谷公  
会堂に於て、日医と日  
歯及び日本看護協会主  
催により「国民医療危  
機突破全国総決起大会」  
が開催される。

## 厚生労働省の医療制度改革試案に対する意見

平成十三年十月二十五日  
日本歯科医師会

さる九月末に発表された厚生労働省の医療制度改革試案について、日  
本歯科医師会は左記の諸点について絶対容認することはできませんので  
善処方を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 一、被用者保険本人の三割負担

被用者保険本人の自己負担は、昭和五十九年に一割、平成九年に百分  
アップの二割、そして五年後の平成十四年には五十%アップの三割に引  
き上げようとしている。このことが疾病の重篤化を招き、結果的に医療  
費を増大させることにつながる。

さらにボーナスを含む保険料の引き上げ等も絡み、これらは患者の受  
診意欲を低下せしめ、早期発見・早期治療という医療の大原則が脅かさ  
れる。

### 二、高齢者医療制度改革

厚生労働省案では七十歳〜七十四歳までが定率二割負担、七十五歳以  
上は定率一割負担としている。しかし、昨年実施された介護保険の対象  
者は六十五歳以上であり、負担も一割である。厚生労働省の高齢者に係  
わる定義は六十五歳以上であり、また、WHOもわかりである。これは  
制度としての整合性を欠いていると言わざるを得ない。セーフティーネ  
ットに鑑みて、矛盾に満ち満ちている。

また、老人医療費の伸び率管理制度については、自動的に萎縮診療が  
作用し、必要な医療の提供が阻害され、その結果、患者のニーズに対応  
し切れないものとなる。

### 三、乳幼児に係る給付率の見直し

三歳未満の乳幼児に係る給付率を八割にすることとしているが、歯科  
領域においては学童期のう蝕発生率の頻度が最も高いこと。また、永久  
歯萌出の完成期である十二歳までの給付率は八割とすべきである。

### 四、保険者と医療機関の契約

保険者と医療機関が直接契約でできることになっているが、保険者がそ  
の被保険者に一定の特典等を与えることにより、保険者が契約した医療  
機関に患者が集中することになり、地域における医療秩序が大混乱が生  
じてしまう。

### 五、保険者による直接審査

社会保険診療報酬支払基金の審査にあたっては、保険者代表、診療担  
当者代表、学識経験者による三者構成で行われているが、保険者の直接  
審査になった場合、前述の公正な審査は期待できない。当然のこととし  
て、保険者側に立った偏重気味の審査が突き進められ、通常必要とされ  
る医療内容までもが評価されない恐れがある。

### 六、IT化の推進

レセプト電算化は磁気媒体に収録したレセプトで診療報酬を請求する  
等、業務の効率化を図っているが、各医療機関が備えるハード、ソ  
フト面における費用負担をどうするのか。  
また、ハッカー、ウイルス等の侵入に対して万全の対応は可能なのか。  
極めて重要な個人のプライバシーの侵害に担保できるのか。

# 連盟推薦の 藤田知事三選決まる



喜びの藤田知事 11月6日付 / 中国新聞社提供

十一月四日、任期満了に伴う広島県知事選挙が投票され、即日開票の結果、無所属現職で広島県歯科医師連盟推薦の藤田雄山氏(五二)が共産党新人の村上昭二氏(五四)を大差で破り三選を果たした。

選挙戦は現職の強みと八年間の実績に加え、自民・民主・公明・自由・保守の五党と連合広島・町村会・町村議会会長など前回は上回る三百九十団体の推薦を受けた藤田雄山氏と、共産党新人で党広島県委員会副委員長の村上昭二氏という構図となり、盛り上がりや欠けたものとなった。

三期目の藤田知事に低を更新した。は経済の長期低迷や行政改革、少子高齢化など県政の課題は山積しており託された課題は多い。

投票後、中区の選挙事務所には支持者や推薦政党の代表、国会議員ら約二百人が詰め掛けた。午後八時に投票時間が終了し、開票作業が始まるとすぐにテレビで当選確実の速報が伝えられ、姿を見せた藤田氏は拍手と歓声に迎えられた。当選後藤田知事は「責任の重大さを改めて実感している。引き続き産業再生、教育改革を柱に、新しい地域づくりなど皆様の期待に応えられようように全力を尽くします」と抱負を語った。

- 会長 本山栄荘
- 四、奥原県議挨拶 奥原信也
- 五、小笠原市長挨拶 小笠原臣也
- 六、万歳(ガンパロー) 三唱
- 七、閉会の辞 理事 三戸斌士

十一月四日投票の呉市長選で、小笠原現市長が、次点の小村氏に一万一千票の差をつけて再選された。

無風の様相を呈していた今回の選挙が、小村氏の立候補により一転、激戦の選挙となった。その中で小笠原氏は、呉の主要各団体をまとめ市政運営八年の実績を前面に打ち出し、出馬表明も遅れ、同窓会主体の選挙運動を展開した小村氏を撃破した。

## 連盟会務報告

平成十三年八月一日～十月三十一日

|       |                        |        |                     |
|-------|------------------------|--------|---------------------|
| 8月5日  | 井上裕参議院議長時局講演会          | 9月22日  | 藤田雄山後援会事務所開き        |
| 8月28日 | 連盟ニュース第一〇三号発送          | 9月3日   | 岸田文雄君の文部科学副大臣就任を祝う会 |
| 8月30日 | 河井克行氏来会                | 10月3日  | 小笠原臣也呉市長訪問          |
| 8月31日 | 小笠原臣也呉市長・奥原信也県議会議員との懇談 | 10月10日 | 神川正紀県議会議長と面談        |
| 9月18日 | 第二回理事会                 | 10月10日 | 松山俊宏県議会議長と面談        |
| 9月18日 | 大島よしひさ参議院議員時局講演会       | 10月15日 | 連盟ニュース第一〇四号発送       |
| 9月21日 | 第八四回日歯連盟評議員会           | 10月16日 | 小笠原臣也さんを励ます会        |
|       | 河井克行氏「ゆめづくりフォーラム2001」  | 10月18日 | 藤田雄山氏出陣式            |

## 連盟支部だより

### 呉支部

小笠原しんや 呉市長を励ます会

十月十六日(火)午後一時より呉歯会館三階「ホール」に於て標記の会が行われた。

開票結果は藤田雄山氏が五十五万四千六十三票に對して、村上昭二氏が十二万六千七百六十一票と藤田雄山氏が厚い支持基盤に支えられ、都市部・郡部とともに全域で幅広い支持を集めて、四十万票以上の大差をつけての圧勝となった。



十一月十八日(日)告示、同月二十五日(日)に投票が施行される三原市長選挙において、三原支部より新人の五藤康之氏の推薦要請が届いた。

最近国民が感じている三大不安は自分の健康と子供の教育と老後の心配だそう。

### 編集後記

▼アフガニスタンの情勢が少しずつみえてきた。戦後求められるのは日本の金銭的支援。湾岸戦争規模を超えるものを国民の「痛み」によってあてがわれるのだろうか? 納得いかん!

▼テロ・戦争、不景気とあまり明るい話題がない中、米大リーグ、ア・リーグのMVPにマリナーズのイチローが選ばれたというニュースが飛び込んできた。

▼国保の資格証明書を交付された世帯が、初めて十万世帯を超えた。



三原市長選 五藤康之氏を推薦

### 三原支部

十一月十八日(日)告示、同月二十五日(日)に投票が施行される三原市長選挙において、三原支部より新人の五藤康之氏の推薦要請が届いた。